

# 気候危機を回避し、豊かで暮らしやすい厚木の未来を創ろう！

第4回会議：2023年9月17日

A

実行主体：あつぎ気候市民会議実行委員会

主催：一社）あつぎ市民発電所、厚木市

連携：一社）環境政策対話研究所

協力：公）地球環境戦略研究機関（IGES）

神奈川県環境科学センター

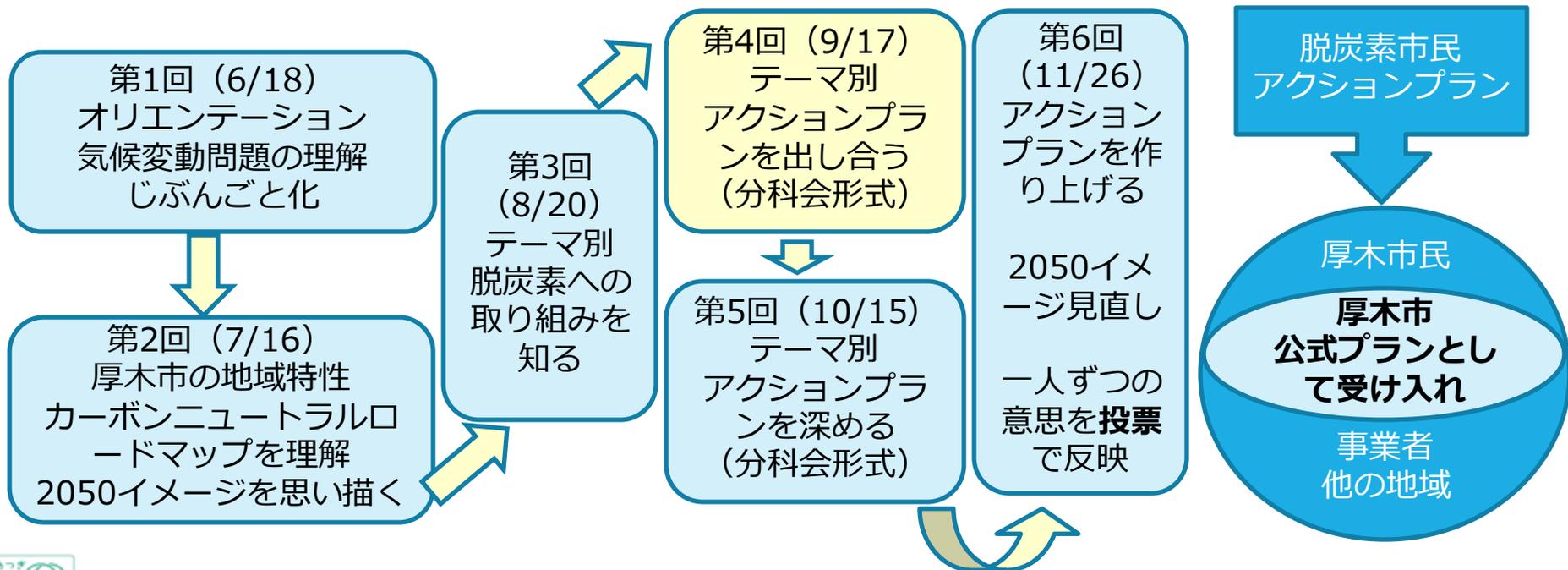
あつぎ気候市民会議



# 本日の内容

13:00～	開会、第3回会議振り返り、本日の内容・目的、アクションプラン作成の大前提の説明、アイスブレイク	実行委員会 Fa
13:20～	<情報提供 & 質疑応答> 市民による再エネ 地域新電力 小田原市の事例（脱炭素先行地域）	あつぎ市民発電所 たんたんエナジー（オンライン） 小田原市環境部 ゼロカーボン推進課
14:10～	グループ討議&グループ間での共有	情報提供者、専門家（松原氏）、Fa
	休憩（模造紙を見てまわろう！）	
15:07～	<情報提供 & 質疑応答> EV Maas 公共交通 厚木市まちづくり計画部（質問への応答）	日産自動車株式会社 MONET Technologies 神奈川中央交通 厚木市まちづくり計画部
15:49～	グループ討議&グループ間での共有	情報提供者、専門家（梶田氏）、Fa
	休憩（模造紙を見てまわろう！）	
16:50～	次回へ向けての連絡	実行委員会
17:00	閉会	Fa

# 脱炭素市民アクションプラン作成 に向けた議論の進め方



# 脱炭素市民アクションプランのありかた

「市民」が2050年CNに向けて描く社会 「市民が主体的に行う行動」

アクションプランの主語は「市民」である！

「市民が」〇〇する

「市民が」△△の実現のため〇〇〇する

「市民が」〇〇する そのために「市」（または事業者、企業など）が××する

「市民が」〇〇する そのために□□□の整備や条件が欠かせない

# 脱炭素市民アクションプランのありかた

## アクションプランの主語は「市民」 たとえば

### 1. EV車の利用促進

- 1-1. 集合住宅に住む市民は再エネ電気を使ってEVを充電する。
- 1-2. 市は集合住宅にも充電施設設置を促進する仕組みをつくる。（もっと具体的に）

### 2. カーボンフットプリントの表示普及

- 2-1. 市民は商品に表示されたカーボンフットプリントを見て買うものを選ぶようにする。
- 2-2. 商品に表示できる仕組みを事業者が作り、行政はそのあと押しをする。（もっと具体的に）



# 脱炭素市民アクションプラン枠組み

第3回会議で出された意見・アイディア、アンケート+専門家アドバイスから整理・リスト化

【全体共通】

大テーマ	取り組みたいカテゴリ
普及・啓発	市民の理解、協働

【A-1】

大テーマ	取り組みたいカテゴリ
創エネ・エネルギーの地産地消	太陽光発電
	蓄電池
	地域新電力
	地域エネルギーマネジメントシステム
	その他の再エネ発電熱利用

【A-2】

大テーマ	取り組みたいカテゴリ
移動・まちづくり	コンパクトシティ
	公共交通
	車の所有
	電気自動車（EV車）
	自転車
	新しい移動手段

# 脱炭素市民アクションプラン枠組み

分科会B

第3回会議で出された意見・アイデア、アンケート+専門家アドバイスから整理・リスト化

## 【全体共通】

大テーマ	取り組みたいカテゴリー
普及・啓発	市民の理解、協働

## 【B-1】

大テーマ	取り組みたいカテゴリー
省工 ネ・住 まい	省工ネ建築
	住まいの断熱性能
	太陽集熱器
	省工ネ家電

## 【B-2】

大テーマ	取り組みたいカテゴリー
消費 ・ 食 ・ 農 ・ 廃棄	適量消費
	CO <sub>2</sub> 排出の少ない商品
	衣類
	食品・農業
	フードロス 生ごみ削減
	石油由来のプラスチック プラごみ

## 本日の内容

大テーマごとの情報提供（現在の取り組み事例）も参考に  
「アクションプランに取り入れたいこと・取り組みたいこと」  
その実現への「ハードル・課題」はなにか

A-1 創エネ  
エネルギーの地産地消

A-2 移動・まちづくり

はば広く  
斬新な

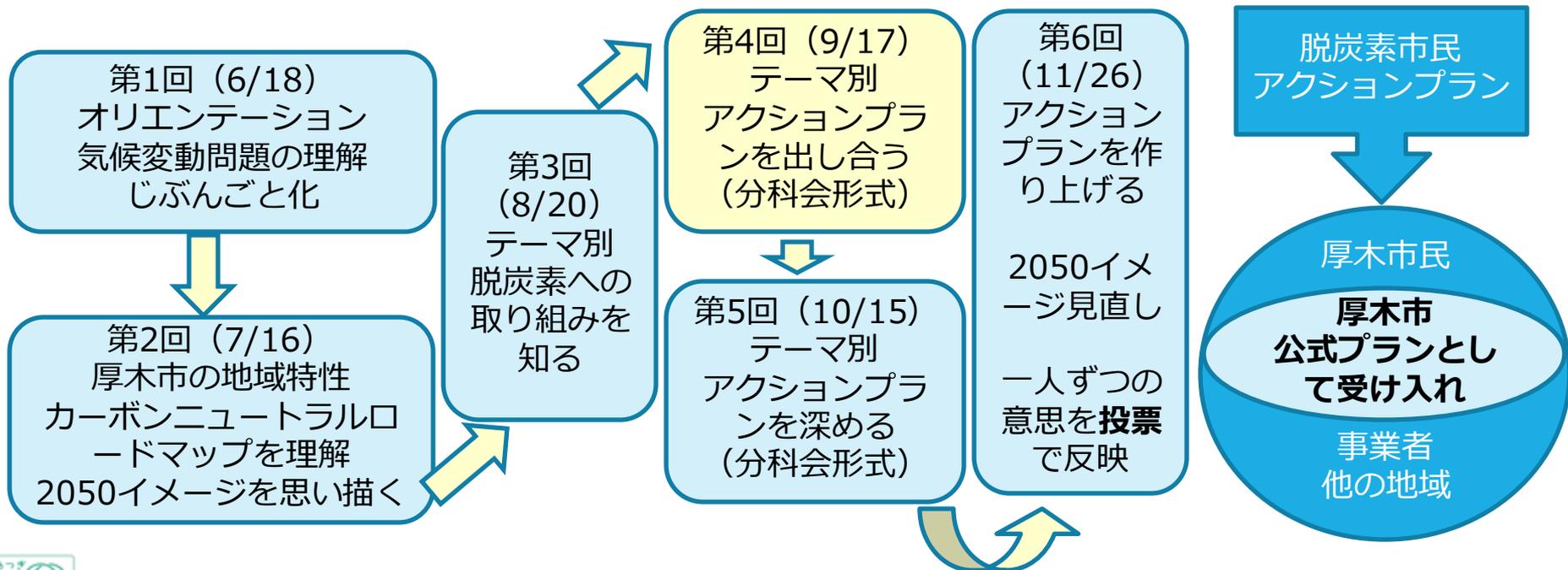
実行委員会で  
厚木市CNロード  
マップ・地球温  
暖化対策実行計  
画と関連付けて  
整理

## 本日のゴール

カテゴリーの文章化をしよう

「私たちは何をどのようにしたいのか」  
5回目：これらをどうやって実現させるか

# 脱炭素市民アクションプラン作成 に向けた議論の進め方



# 脱炭素市民アクションプランのありかた

アクションプランの主語は「市民」=私たち！

「市民が」〇〇する

「市民が」△△の実現のため〇〇〇する

「市民が」〇〇する そのために「市」（または事業者、企業など）が××する

「市民が」〇〇する そのために□□□の整備や条件が欠かせない

もう一度！

# アイスブレイク

## あたらしいグループなので

一人ずつ簡単な自己紹介と、

これまで議論に参加してきた自分が興味を持ったことや

グループで議論が盛り上がったことを共有しましょう

一人1分 短くてごめんなさい

**13:20まで**

# 市民による再エネ、ソーラーシェアリング

再生可能エネルギーを厚木市で増やそう  
～市民参加の発電事業＊ソーラーシェアリングの紹介  
遠藤 睦子 氏

一般社団法人あつぎ市民発電所 理事長

事前配信資料

[1 A1 再生可能エネルギーを厚木市で増やそう](#)

リンク

[あつぎ市民発電所](#)

# エネルギーの地産地消を実現

エネルギーの地産地消・地域新電力  
～たんたんエナジーの事例  
木原 浩貴 氏

たんたんエナジー株式会社 代表取締役  
たんたんエナジー発電合同会社 代表社員たんたん  
エナジー職務執行者

事前配信資料

[2 A1 エネルギーの地産地消・地域新電力](#)

リンク

[たんたんエナジー](#)

# 自治体がリードする地域のエネルギーマネージメント

小田原市脱炭素先行地域の計画概要  
小野 貴朗 氏

小田原市環境部 ゼロカーボン推進課  
エネルギー事業推進係長

事前配信資料

[3 A1 小田原市脱炭素  
先行地域の計画概要](#)

# 話し合いのルール

- 自分の正直(率直)な意見をお話してください。遠慮なく発言しましょう。
- 他の参加者が嫌(不快)な気持ちになる発言や行動は控えましょう。
- 他の参加者が発言している時は、遮らずに最後まで聞くように努めましょう。
- 分からない事に関しては素直に質問しましょう。
- 議論すべき話題に集中しましょう。
- なるべくみなさんが発言の時間を持てるように、意見は手短かに述べましょう。
- 話し合いを通してお互いの考えや意見の変化を受け入れましょう。
- 気分が優れなくなった場合など、無理せず離席しましょう。

# グループ討議①

- 重要だと思ったこと、アクションプランに取り入れたいことを、**ピンク**の付せんに書き出してください。
- ピンクの付せんの内容について、実現したいけれど課題になりそうなことがあれば**水色**の付せんに書き出してください。
- 講師に質問がある場合は、グループごとに講師を呼んでください。
- 討議の後、ファシリから、グループで特に盛り上がりたり特徴的だったところを、口頭で発表していただきます。（1分）

**14:52まで**

**15:07** までに席に  
お戻りください。

他のグループ  
の模造紙を見て  
みましょう！

# 休憩

## このあとのプログラム

- |        |               |
|--------|---------------|
| 15:07～ | 情報提供レクチャー     |
| 15:50～ | グループ討議        |
| 16:40  | 休憩            |
| 16:50  | 次回案内          |
| 17:00  | 連絡事項、アンケート 閉会 |

# 電気自動車（EV）の動向と活用事例

電気自動車を取り巻く環境  
大木 俊雄 氏

日産自動車株式会社  
厚木テクニカルセンター  
総務部

事前配信資料

[4 A2 電気自動車を取  
巻く環境](#)

# MaaS（マース：Mobility as a Service）

## Mobilyty Innovation

渡會 祥 氏

MONET Technologies株式会社

MaaS推進部 東日本地域事業推進課

課長代理

MaaSとは？

公共交通を含めた、自家用車以外の全ての交通手段による移動を1つのサービスとして捉え、ICT（情報通信技術）を活用して、シームレスにつながり移動の概念。またそれを目的としたサービスのこと。

事前配信資料  
なし（印刷資料のみ）

リンク  
[MONET](#)

# 公共交通

神奈中グループのカーボンニュートラルロードマップと乗合バス事業での脱炭素に向けた取り組みについて

利光 芳明 氏

神奈川中央交通株式会社  
総務部 広報担当

事前配信資料

6\_A2 神奈中グループ  
のCNロードマップと  
乗合バス事業での脱炭  
素に向けた取り組みに  
ついて

# 厚木市まちづくり計画部

ご質問への応答

## グループ討議②

- 重要だと思ったこと、アクションプランに取り入れたいことを、**ピンク**の付せんに書き出してください。
- ピンクの付せんの内容について、実現したいけれど課題になりそうなことがあれば**水色**の付せんに書き出してください。
- 講師に質問がある場合は、グループごとに講師を呼んでください。
- 討議の後、ファシリから、グループで特に盛り上がり特徴的だったところを、口頭で発表していただきます。（1分）

**16:35まで**

**16:50** までに席に  
お戻りください。

他のグループ  
の模造紙を見て  
みましょう！

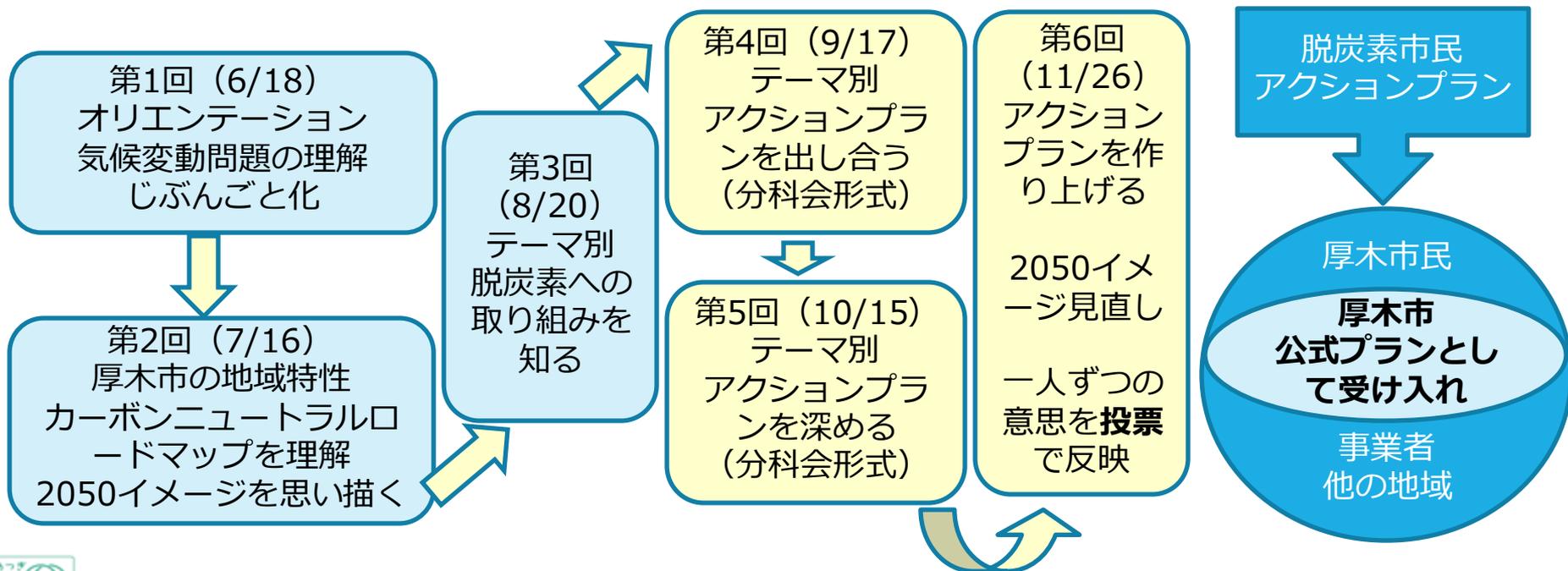
# 休憩

## このあとのプログラム

16:50	次回案内 連絡事項
17:00	閉会

# 次回に向けての流れ・・・

第4回：アクションプランのカテゴリー文章化 / 第5回：深める ⇒素案（事前投票？）  
/ 第6回：全体会 全体共有・確定+実施優先度の投票



# 次回に向けてのご連絡

**10月15日（日） 13:00～17:00**

**場所：アミューあつぎ 受付場所等については追ってご連絡します。**

アンケート

Googleフォームまたは用紙で：

**9月18日（月）** 〆切

<https://forms.gle/m4kBNg57PbnWAbRg6>

会議録など公開  
次回の出欠確認

会議終了後10日後を目安にホームページにて

**9月30日（土）** 頃に「あつぎ気候市民会議レター」にて

名札

テーブルに置いてお帰りください。

託児サービス

次回利用予定の方は、お帰りの際に受付で申し込み

※託児室は5Fの和室になります。



お疲れさまでした。

あつぎ気候市民会議

